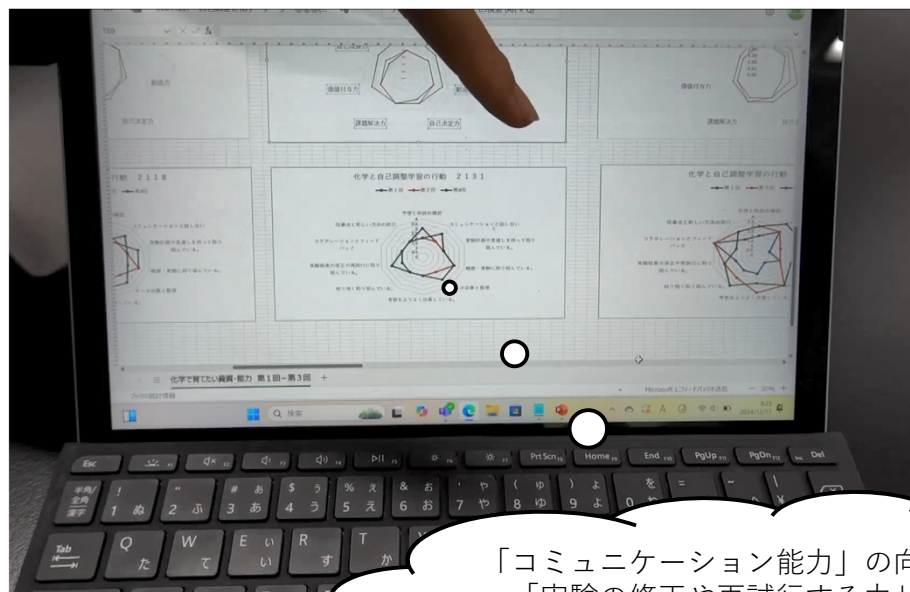
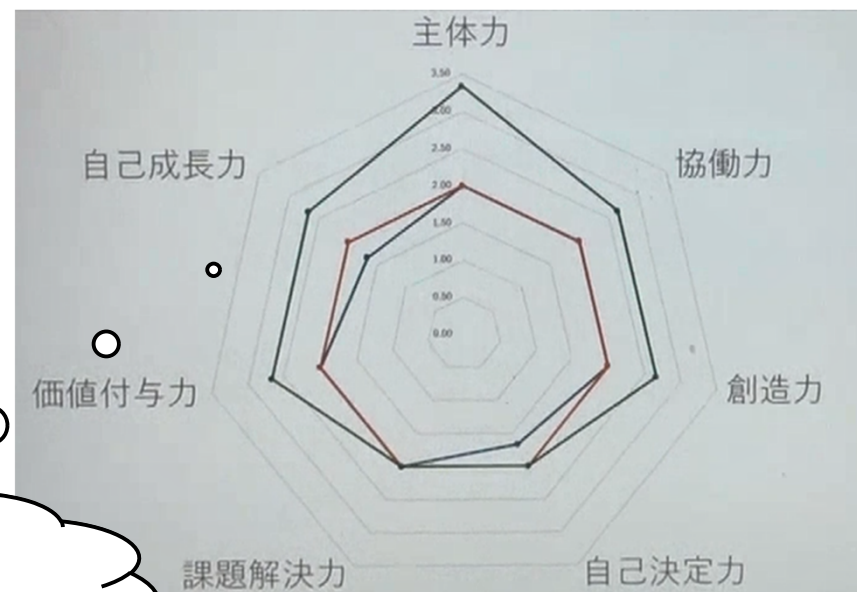




「コミュニケーション能力」の向上や
「実験の修正や再試行する力」、
「主体力」が身に付けられた。



取組の目的は、全ての生徒に確かな学力を育む教育です。取組内容は、探究的な観察・実験を通じて、生徒自身が成長を実感できるように自己評価したことをグループ内で発表させたことです。工夫した点は、生徒一人ひとりが「化学における自己調整学習を促す10領域30の行動に取り組むこと」や「探究力」をガイダンスで説明したことです。また、振り返りは全て一人一台端末を用いて、データを蓄積できるようにしました。成果は、多くの生徒が「コミュニケーション能力」や「実験の修正や再試行する力」に向上が見られたことです。このことから、主体的に話し合い、自分の考えを深めたり、広げたりする生徒の割合が増加しました。